

キンラン

Cephalanthera falcata (Thunb.) Blume

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

従来はやや普通の植物であったが、急激に減少し、現在は稀産の植物となっている。20産地前後より報告があった。(現況:V2ー)

形態

茎は直立して30～70cm、稜線があり5～8個の葉を互生に着ける。花は黄色で、3～12個が着き、苞は膜質で三角形、長さ3cm。萼片は卵状長楕円形、長さ14～17mm。唇弁の基部は筒状で距となり、唇部は三裂。種内分化がありいくつかの品種がある。

国内分布

本州、四国、九州、さらに朝鮮、中国に分布。

県内分布

奥能登、口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は4～6月。

生育環境

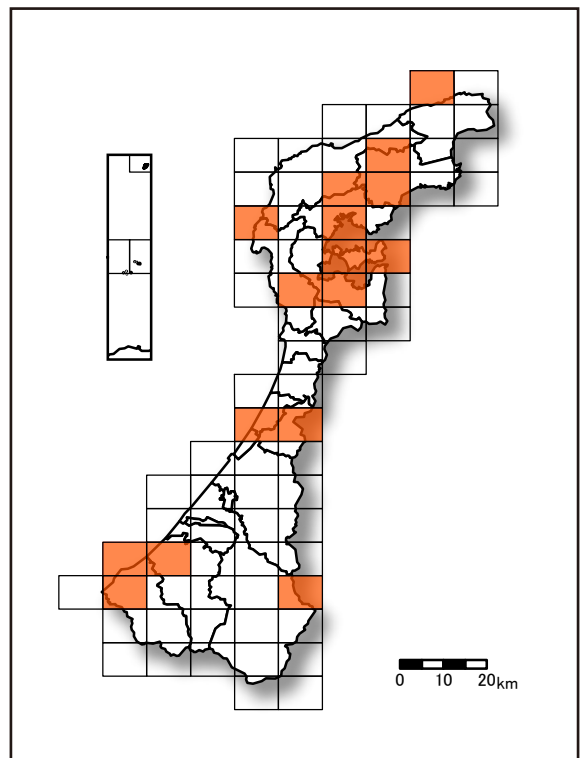
丘陵地の疎林の林床、林縁、林道の路傍など。

危険要因

森林伐採、草地開発、土地造成、園芸採取、踏みつけ、自然遷移、その他。



小野ふみ糸・2005年6月4日・穴水町



県内の分布